

錦ヶ丘地区社協だより

令和5年1月1日発行

錦ヶ丘地区社会福祉協議会

～新年あけましておめでとうございます～

錦ヶ丘地区社会福祉協議会 会長 子安啓允



毎年三団体（社協・共同募金・日本赤十字）募金活動へのご理解ご協力を賜り、自治会長様はじめ住民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍と社会活動の両立を目指した寅年でしたが2月24日のウクライナへのロシア侵攻に端を発した世界規模の急激なインフレに襲われ、物価高騰が相次ぎ、家庭経済を直撃する深刻な状況は、今なお続き混迷を深めています。一日も早く平和で平穏な生活が出来ることを切に願うばかりです。

こうした中での地区社協は、福祉活動の推進をはじめ、住民の健康とコミュニティの活性化に、一層力を入れてまいります。

サロン活動（たまり場・ふれあい茶屋・福寿草・健康麻雀・3B体操）では、感染予防を第一に活動時間短縮の上、開催してまいります。積雪時の玄関先から道路までの除雪作業は、「雪かきお助け隊」として、地区社協が支援します。

なお、仙台市社会福祉協議会青葉区宮城支部事務所（TEL022-392-7868）が主動する「フードドライブ事業」にもご協力をお願いいたします。この事業は、あなたの家庭や事業所で余っている食品を寄付していただき、生活に困っておられる方に寄贈するボランティア活動です。昨年は、お米300Kgをご寄付下さった方もおられ大きな反響がありました。錦ヶ丘コミュニティセンターに回収BOXがありますので、皆様のご協力をお願いいたします。・・食品ロスは本当に、もったいないですね！！

また、新年早々恐縮ですが同時配布する「地域福祉活動アンケート調査」にもご協力下さい。



◇民生委員・児童委員の 高山昭子様へ◇

地域福祉活動に18年間の長期にわたり任期を満了され、ご尽力いただいたことに心から感謝いたします。お疲れ様でした。

2022.12.1より、4丁目5丁目を担当される後任者は、5丁目在住の

松浦典子様です。

子どもたちをいじめから」守るために大人ができることは？

登下校時や地域活動などでの大人からの声かけやねぎらいのことばで、子どもたちは「自分のことを気にかけてくれている」と感じることができます。そうした積み重ねが子どもたちの自信となり、**「自分とまわりの人を大切に**
する心」を育み、いじめの防
止につながります。

いじめを見逃がさない

地域で気になる様子の子どもの見かけたら学校に知らせる



小中高生に聞いた大人にしてほしいこと

〇気持ちよくあいさつするために、まずは大人が見本になってほしい

〇学校以外の生活でもいじめが起こるので、気にかけてほしい

三団体への募金ありがとうございました。ご協力に心から感謝いたします



社会福祉協議会の活動は、皆様からご協力いただいた社協会費および日赤会費、共同募金寄付金の配分金が充てられています。令和4年度に皆様から寄せられました寄付金は次のとおりでした。

「思いやり助成金」で、防災倉庫をコミセン敷地に設置できました



（単位：円）

自治会	社協会費	日赤会費	共同募金	小計	自治会	社協会費	日赤会費	共同募金	小計
錦ヶ丘セントラルハイツ	5,100	8,500	8,500	22,100	錦ヶ丘6丁目	46,100	75,100	73,300	194,500
錦ヶ丘1丁目	4,800	8,500	8,000	21,300	錦ヶ丘7丁目	32,400	54,000	52,500	138,900
錦ヶ丘2丁目	23,700	39,000	38,000	100,700	錦ヶ丘8丁目	51,300	95,500	74,000	220,800
錦ヶ丘3丁目	107,400	178,500	178,000	463,900	錦ヶ丘9丁目	27,300	45,500	45,000	117,800
錦ヶ丘4丁目	57,900	96,000	96,500	250,400	合 計	392,500	663,600	626,800	1,682,900
錦ヶ丘5丁目	36,500	63,000	53,000	152,500					

◆社協だよりについてのご要望は 連絡先/事務局(立花幸賢)

小地域ネットワーク活動



ゴルゴ松本

前 略

10代のみんなへ

2022.12.18読売新聞記事から

今回の漢字「切」 全力出し切る努力を！

年が明けたら本格的な受験シーズンを迎える。これまで積み重ねてきた勉強の成果や自分の力を本番で出し切れるよう「切」という漢字について考えてみたい。受験する予もしない予もこの一年間自分の全ての力を出し切って取り組むことは出来たかな？

何事に対しても自分の力を出し切ることで、人は磨かれていくんだ。磨かれるというのは、成長できているということ。「切」という漢字は「切磋琢磨」という言葉の最初の字としても使われているだろう。

少くく傷があつたとしても磨き続ければ光るんだ。もし自分の力を出し切れていないと思ったのなら、まずは出し切る努力をしてみてほしい。「継続は力なり」という言葉があるようにテストや試験は日頃からやってきたことの積み重ねを「試す」ものなのだ。本番で満点に近い点数を取れるような頑張りを日頃から全力でやっていくことが重要だ

若いうちから思い切りやるという姿勢がなければ、大人になった時に全力は出せない。中途半端が一番良くない。もし自分の全力を出し切ってチャレンジしたのに結果がうまくいかないことがあれば「割り切る」という考え方も大切。

次に進めばよいだけだ。10代のみんなの中には悩みを抱えている子もいるかまじれないが、気持ちを切り替えることも大事だ。家の中にずっといたらだめだよ。時には外に出て空気を思い切り吸って、太陽の光を浴びるのもいいだろう。

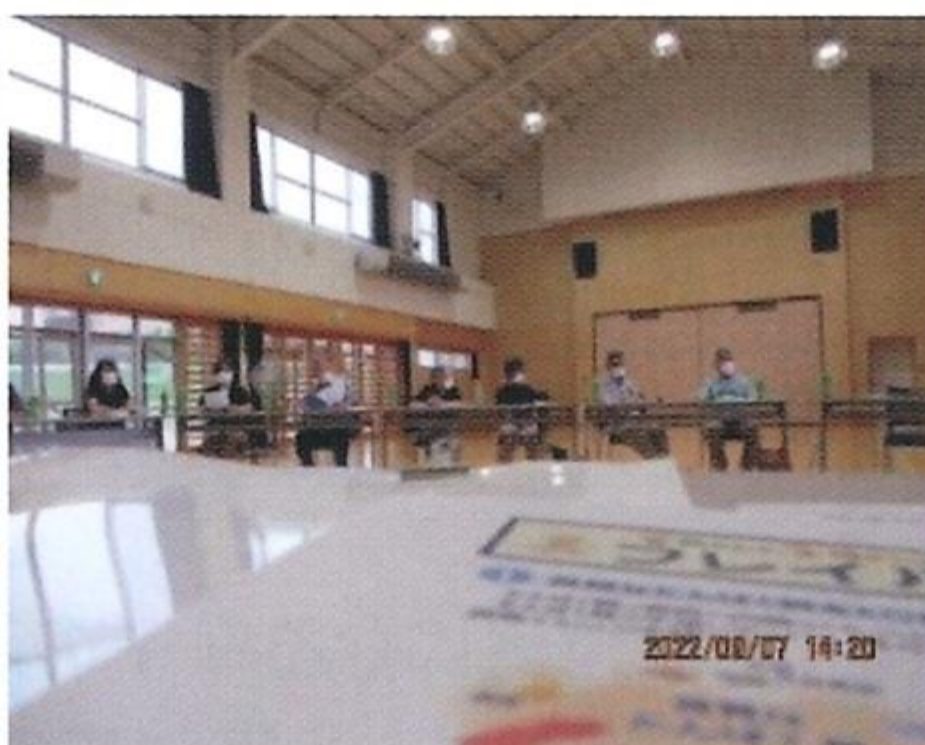
外に目を向ければ、自分を客観的に見られるようになる。たいした悩みではなかったと気づくかもしれない。

この一年、全力を出し切ってきたか、自分自身の行動を見つめ直しながら、受験に向かって思い切り、やり切ってほしい。ガンバレ！！



◇ フレイル予防の学習会(日本赤十字奨励事業)2022.9.7 ◇

料理教室風景



- ・コミセン多目的ホールを会場に21名が参加
- ・フレイル予防について受講
- 健康状態と要介護状態の中間に位置し身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のフレイルを回避する方策(食事・運動・社会参画)を学んだ。特にたんぱく質の不足に注意が大切
- ・楽しかったがコロナ禍のため受講生の料理実習体験は割愛

◇中学生主体のボランティアサークル(ちょこボラ)と社会福祉協議会と連携した活動◇

活動概要



- ・中学生が”ちょこボラ”を立ち上げ、社協が支援してます
- ・作業は、錦ヶ丘の公園ゴミ拾いです
- ・今年度のメンバーは、小4～高3までの13名
- ・活動日は、偶数金曜日の16:30～17:30
- ・メンバーは、ボランティア保険に加入しています
- ・サークルを立ち上げたリーダーの思いを第20回地域福祉セミナーの席上「ビデオメッセージ」で発表し好評をいただきました。

反省会・次年度計画



- ・メンバーの母親(2名)も含め沢山のご意見がありました
- ・小学生と中学生のつながりが出来て楽しい
- ・活動は、地域の活性化につながる(貢献の喜び)
- ・ボランティアは楽しく、終わったあとも仲間と少し遊びたい
- ・雪かきのボランティアしてもいいよetc
- ・次年度の活動は、毎週土曜日8:30～10:30

広報委員会より

☆本年度から始まった錦ヶ丘小・中学校「Community School」の発表会が1月7日(土)中学校で開催されます。地域のみんなに参加し、子どもたちと一緒に学習しましょう。

☆仙台市社会福祉協議会のコンセプトは

「一人ひとりの市民がその人らしく地域で安心して、いきいきと暮らせる福祉のまちづくり」です。